

# CASBEE<sup>®</sup> さいたま2016年版 | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版 使用評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.1.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	関東支社 岩槻社屋	階数	地上5F
建設地	さいたま市岩槻区大字加倉字坂下2	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	220 人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,200 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年12月 予定	評価の実施日	2017年7月20日
敷地面積	19,471 m <sup>2</sup>	作成者	山下 貢
建築面積	1,706 m <sup>2</sup>	確認日	2017年8月25日
延床面積	6,312 m <sup>2</sup>	確認者	小林 敏雅



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆☆☆

①参照値 100%  
②建築物の取組み 76%  
③上記+②以外の 76%  
④上記+ 76%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.5

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	複数の会社が入居する建物となるので運営時の無駄なエネルギー消費を極力少なくしLCCO2をいかに抑えるかを考慮し計画を行った。	
その他		
Q1 室内環境	執務室は全般照明とし500 L x 以上確保とした。	Q2 サービス性能
		建物内をバリアフリー化し天井高さを2.7m確保することで快適な居室空間となるよう計画した。
Q3 室外環境(敷地内)	既存敷地での建替えなので、既設緑地を極力破壊しないよう建物配置を計画した。	
LR1 エネルギー	太陽光発電及びビル監視システムを計画しCO2削減に努めた。	LR2 資源・マテリアル
		節水型便器を採用し節水に配慮した計画とした。
LR3 敷地外環境	敷地周囲の環境に影響を与えない建物配置を心がけた。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される